笑顔輝く　せたっこ通信

令和５年１１月
大津市立瀬田幼稚園

　黄金色のイチョウの木も北風とともに葉を落とし、冬の訪れを感じるようになりました。今年はたくさんの銀杏がなりました。
　季節ごとに変わるイチョウの下で子どもたちは遊びをつくりだしています。
　その隣の紅葉がきれいに色づいてきています。

イチョウの葉っぱで

　イチョウの木の下が黄色の絨毯のようになり、思わず駆け寄り集めたくなります。１枚１枚を重ねていくとまるで花束のようになっていくことが楽しく、夢中になっています。３歳児から５歳児まで、みんなが混じりあって遊べることも魅力です。

　写真のように、お尻をつかずにしゃがみながら、片方の手でイチョウの葉を握りもう片方の手でイチョウを探すという動作は、子どもにとって容易なことではありません。しかし、この動作は体幹が鍛えられるとともに、左右の手が別々の動作ができるようになってきた幼児期だからこそできることです。子どもたちはイチョウの葉っぱに触れながら、しっかりと感覚統合を鍛えています。

　他にも焼き芋に向けて、５歳児が熊手を使って落ち葉を集めていました。それを見ていた３歳児も同じように熊手を手に、５歳児のしていたことを真似をし始めました。びっくりするくらい熊手を上手に使えていて、あっという間に落ち葉を集めることができました。
　集めた落ち葉は、なんとお風呂屋さんになり早速子どもたちがお風呂に入り、葉っぱの感触を楽しんでいました。思っていたよりもフカフカでとても気持ちよく、水（葉っぱ）を掛け合う姿がありました。

　このように、イチョウの葉っぱだけでも、こんなにたくさんの経験をすることができます。子どもたちが自然に触れながら「わぁ～！」「すごい！」「きれい。と思う感性も大事にしていきたいと思います。

実りの秋。たくさんの収穫がありました。

畑で栽培していたサツマイモ、大根、カブ、と次々に収穫をすることができ、ご家庭で食していただいたことと思います。その中で、「サツマイモのつるを初めて食べた。」と言ってくださり、子どもたちも「美味しかったしお弁当に入っている。」という声がありました。

毎年、大根の栽培をするのですが、あんな小さな種から大きな大根になるなんて凄いな。と思い、生命の尊さを感じています。大根もカブも葉っぱまで残すことなく、料理をして頂き、ありがとうございました。

収穫後の畑は整備し、３歳児と４歳児が来春の収穫を楽しみに玉ねぎを植えました。そして、今年も自治連合会の岸場会長さんから玉ねぎの苗を頂きました。

個人鉢では、３歳児はチューリップ、４歳児はスティックブロッコリー、５歳児は水仙を育てています。栽培を通して、生長の喜びだけでなく、世話をすることの責任感も育ってくれることを願っています。

御霊神社での焼き芋

自治連合会の岸場会長さんをはじめ、瀬田学区安全リーダーさんの方などたくさんの方にお世話になり、焼き芋をしてくだいました。２回も雨で延期になりましたが、当日は小春日和（焼き芋日和）のお天気に恵まれました。朝早くから焚火をしていただき、煙の臭いが幼稚園まで届いていました。

５歳児の子どもたちは焼き芋をするために、園庭や小学校のグラウンドに行き、落ち葉を集めていました。落ち葉を集める時に子どもには「茶色くて枯れている葉っぱを集めよう。」と声をかけました。すると、子ども同士で「カサカサするのがいいんやで。」と伝言ゲームのように広がっていき、手で触ったりカサカサと音がするか聞いたりしながら集めていました。また、「上に行ったらいっぱいある！」と情報を伝えたり、３歳児や４歳児に何をしているのかを聞かれると、「焼き芋をするから葉っぱを集めているの。」と教えたりしながら焼き芋の日を楽しみにしていました。焼きたてのホカホカの焼き芋を口いっぱいに頬張る子どもたちを地域の方がとても温かく見てくださっていました。

付き添いをしてくださった保護者の皆さま
ありがとうございました。